



上智大学における環境リテラシー教育

—持続可能な社会をになう人材養成をめざして—

鬼頭 宏 (地球環境研究所/経済学部)
 URL: <http://gp.genv.sophia.ac.jp>
 HESDフォーラム2008
 サステナビリティに向けた大学教育の挑戦
 立教大学/2008/12/13

1

取組の概要

事業名称 グローバル社会における環境リテラシー教育
 -持続可能なグローバル社会の主体形成をめざして-

補助金 文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラム
 (現代GP)補助事業

期間 2007年10月～2010年3月
 全学部の新しい全学共通教育カリキュラムが実施される
 2012年度を実施年度として予定

2

上智の精神と取組の目標

1. 取組目標は、「全学共通教育」において「環境リテラシー教育」を構築することにある。これを基礎に所属する学科の専門科目を関連づけ、より高度な教育、研究に発展させて環境人材の育成を目指す。
2. 本学の建学の精神は「キリスト教ヒューマニズム」であり、“Men and Women for Others, with Others”を教育理念とする。21世紀が直面する地球環境問題に取り組む人材の育成をめざすことは、他者のため、他者とともに生きるという教育理念の実践に他ならない。

3

環境リテラシー:新たな教養

1. グローバル化した現代世界を主体的に担っていく人間にとって、地球環境を正しく理解し、学び、良い地球環境を保持するために行動することは、必要不可欠なあらたな教養である。
2. 持続可能な社会を形成するために必要な能力と意欲とリーダーシップを備えた「環境人材」を養成することは、大学にとって重要な使命になった。
3. この取組では、すべての学生を対象にする全学共通教育に体系的な環境リテラシー科目群を設置する。

4

取組の概要

1. 体系的なグローバル環境リテラシー(GEL)の構築
2. 各学部・学科の専門教育、大学院教育との連携
3. 体験型学習の導入
4. エコキャンパスの実現

5

課題

1. 環境リテラシー科目群の体系化。環境を考えることは文明を考えること。開発、格差、国際関係、科学技術など広がりをもったESDでなければならない。
2. 演習、実習、インターンシップの充実を図ること。2009年度「野外活動と環境」を開講。
3. エコ・キャンパスの実現
 全学的組織「持続的良き地球環境の享受のための推進準備委員会」との連携
4. 地域社会との連携
 東京都千代田区(エコ・キャンパス)
 神奈川県秦野市(里山整備事業)との連携

6